

# 笑顔あふれる学校

## ウィズコロナ

世の中では相変わらず毎日のように新型コロナウイルス関連のニュースが流れています。そんな中、「ウィズコロナ」という言葉を聞くことが多くなり、スポーツやコンサートなどの入場者数制限の緩和が行われたり、濃厚接触者の自宅待機期間が短縮されたりしています。このように、科学的根拠をもとに感染対策をした上で、コロナ流行以前の生活様式に近づけていくことは今後広がっていくものと考えます。

学校でも同様に、教育委員会等の指示をふまえた上で、子どもたちにとって有益であることを1つでも多くできるようにしたいと思っています。

## 離任式（4月15日）

3月末でご退職や転勤された先生方とのお別れの会をリモートで行いました。

式にはお世話になった先生に、子どもたちが書いた手紙を渡す場面がありました。その中で、感極まって涙ぐむ子どももいて、感動を覚えました。知立小を去られた先生方、ありがとうございました。



## 授業参観（4月16日）

コロナウイルス感染防止のため、様々な制限等にご協力くださり、ありがとうございました。授業参観中、校内を巡回しましたが、保護者の皆様が大変静かに参観してくださっている雰囲気を感じられ、ありがたく思いました。

また、子どもたちからは、張り切って授業に臨んでいる姿勢を見ることができました。



## 避難訓練（4月21日）

今年度初めての避難訓練を、地震が発生したという想定で行いました。

早めに運動場に出て、子どもたちが避難してくる様子を見ていましたが、さすがに5、6年生は黙って整然と避難することができました。

避難後には、行動の合言葉である「お（押さない）、は（走らない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」の、特に「しゃべらない」ことの大切さについて話をしました。

3月から4月にかけて、全国的に地震が多く発生しています。ご家庭でも、機会を見つけて大地震が発生した時の対応について話題にしてみてもいいのではないでしょうか。



## 知立小学校開校 150 周年に向けて

昨年度末の学校だよりでもお伝えしましたが、令和5年度に本校は開校150周年を迎えます。それをふまえて、これからの学校だよりで、知立小の歴史を紹介していきます。

昨年度末には、明治6年に了運寺（西町）に仮教室ができたのが始まりであることを紹介しました。その後、明治28年（127年前）に、現在の市営駐車場（知立駅の北東）の場所に移転しました。さらに明治32年には、近くの学校が統合され、「碧海郡知立尋常高等小学校」となりました。学校のあった場所は、現在の新地公民館あたりから名鉄線一帯（現在マンション建設地）に校舎があったようです。

その後、昭和12年に火事で2棟15教室を焼失してしまいました。



【校門と校舎（1916年）】